

Vol.99 No3  
2008.9.30

# 農職組ニュース

茨城大学農学部  
労働組合

## 全大教第20回教職員研究集会について（報告）

（9月13～15日 電気通信大学）

標記集会在、「第2期中期目標に向け、切り拓こう大学・高等教育の未来を」とのテーマのもとに開催されました。どの大学・職場におきましても、当然のことながら、法人化後の大学のあり方の検討、労働条件・労働環境の改善が重要であるとして、種々、議論が展開されておりました。本研究集会では、第1日目に記念講演、特別講演などが企画され、第2～3日目には各分科会において予め設定された課題について担当者からの報告を受け、その内容に沿いつつ討論が行われました。それらの概要は次のようでした。

### (1) 開会集会 [9月13日（土）13時00分～17時30分]

- 記念講演「大学法人の現状・課題・展望」、講師：金子元久氏（東京大学教育総合センター教授）
- 特別講演「大学におけるメンタルヘルス」、講師：影山任佐氏（東京工業大学保健管理センター教授、国立大学法人保健管理施設協議会メンタルヘルス委員長）
- 質疑、討論・交流

### (2) 交流会 [9月13日（土）18時～20時]

### (3) 分科会

#### 分科会のテーマ

#### ●A分科会 [9月14日（日）9時30分～12時00分、13時00～15時30分]

A1.大学・高等教育機関における教育実践    A2.教職員の労働条件・環境問題  
A3.評価と査定昇給    A4.大学・高等教育問題    A5.教員養成系大学・学部問題

#### ●B分科会 [9月14日（日）15時45分～17時30分、

9月15日（月）9時30～11時45分]

B1.過半数をめざす組合づくりと組合活動の改善    B2.大学の自治・自律的機能  
B2.男女共同参画    B4.事務職員    B5.技術職員    B6.図書館員    B7.公立大学  
B8.大学共同利用研究機関    B9.附属学校    B10.非常勤職員

このように、多彩なテーマが取り上げられておりました。これらのうち、参加したセッションで印象に残っていることをお伝えします。

## A2 (労働条件労働環境)

各大学での現状は概ね同じようです。

教職員には業績評価や人事評価がなされ、この事をすべてマイナスにとらえてはいませんが、人件費削減にからみ、教職員の数が減少している中で、業務量が増え、結果、教員と事務との業務配分の軋轢に、ストレスを感じ、なお、学生指導にも十分時間がとれず、特に、修士の学生にストレスが多く見られるという報告もありました。それでも、なんとか乗り切らざるを得ないところが現状です。

## A10 (非常勤職員)

改正パート労働法を受け、論議は、3年・5年の雇用止め撤廃に多くの時間が割られました。現在、全大教に報告されている雇用止めが無い大学数が14大学です。事務補佐員という名のもと、同じ仕事が継続されるにも関わらず業務になれた時期に職員が新人になると言うことが、いかに現場の業務が増え、結果、教員や学生の方々にも影響が出ているということです。通常に考えれば何とも不合理な事といえます。この事については、全大教に於いても今後、国大協に改善申し入れを続けていくとともに、各大学においても雇用安定、格差是正からも引き続き取り組みを強化していくことになりました。

参考： 【今回の教研集会出席状況】 62大学 230名 分科会レポート95件  
以上 文責：宗田和子

なお、今回の教職員研究集会で配布された資料集は、組合事務室にて保管しております。ご覧になりたい方は、当事務室までおいで下さい。

**抗議電報を打つ！** 「国立大学の存立を危うくする 2009 年度概算要求基準による運営費交付金の 3% の大幅削減に反対する」

(宛先： 内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣) 7月28日

### ● 11月1, 2日開催の鍬耕祭での

フリーマーケット実施にむけて、バザー用品の提供をよろしくお願いいたします。  
今年もにぎやかなマーケットにしたいと思います。日用品、雑貨、本、おもちゃ、洋服等ございましたら組合事務室まで、またはご連絡いただければ取りに伺います。

(バザールくみあい実行委員会より)